

情報通信審議会 情報通信技術分科会 放送システム委員会  
IP 放送作業班(第3回) 議事概要

1. 日時:平成30年6月19日(火)13:00~15:30
2. 場所:総務省(中央合同庁舎2号館10階) 共用1001会議室
3. 議題
  - (1) 前回議事概要(案)の確認
  - (2) デジタル有線テレビジョン放送方式の搬送波等の条件の見直しについて
  - (3) 構成員等からのプレゼンテーション
  - (4) 放送システム委員会の中間報告案について
  - (5) その他
4. 出席者(順不同、敬称略)
  - (1)構成員等  
甲藤主任(早稲田大学)、猪俣主任代理(日本ケーブルラボ)、青山(シンクレイヤ)、泉(住友電気工業)、岩佐(ケーブルテレビ徳島)、上園(ジュピターテレコム)、大塚(イツツ・コミュニケーションズ)、尾関(ハートネットワーク)、影山(パナソニックシステムソリューションズジャパン)、川口(コミュニティネットワークセンター)、木谷(IPTVフォーラム)、倉掛(日本放送協会)、佐々木(KDDI総合研究所)、柴田(愛媛CATV:白石代理)、滝口(東日本電信電話)、那須野(ジャパンケーブルキャスト:内藤代理)、中島(日本ケーブルテレビ連盟)、中丸(日本 CATV 技術協会)、松本(古河電気工業)、安田(日本デジタル配信)、河野(シスコシステムズ)
  - (2)事務局  
吉田、古賀、元廣(情報流通行政局衛星・地域放送課地域放送推進室)
5. 配付資料

資料 IP 作3-1	第2回 IP 放送作業班議事概要(案)
資料 IP 作3-2	デジタル有線テレビジョン放送方式における搬送波等の条件の見直しについて
資料 IP 作3-3	映像伝送を支える IP ネットワークインフラストラクチャ(シスコシステムズ)
資料 IP 作3-4	ネットワークの現状と高度化への取組み(上園構成員)
資料 IP 作3-5	KDDI の IP 放送サービスの現状(佐々木構成員)
資料 IP 作3-6	NGN における映像配信サービス対応状況(滝口構成員)
資料 IP 作3-7	IP 放送性能規定に関する提案(松本構成員)
資料 IP 作3-8	IP リニア放送サーバにおける品質確保の方法(山本構成員)
資料 IP 作3-9	IP 放送作業班における検討状況について(案)
資料 IP 作3-10	IP 放送作業班における検討状況について(参考資料)
参考資料 IP 作3-1	IP 放送作業班開催要項
参考資料 IP 作3-2	デジタル有線テレビジョン放送用受信装置における 256QAM 方式信号のCN比試験報告書

## 6. 議事概要

議事次第に沿って検討を行った。主な概要は以下のとおり。

### (1) 前回議事概要(案)の確認

資料 IP 作3-1 の前回議事概要(案)が承認された。

### (2) デジタル有線テレビジョン放送方式の搬送波等の条件の見直しについて

中丸構成員より、資料 IP 作3-2に基づき説明があった。

### (3) 構成員等からのプレゼンテーションについて

シスコシステムズ、上園構成員、佐々木構成員、滝口構成員、松本構成員、山本構成員より、それぞれ資料 IP 作3-3、3-4、3-5、3-6、3-7、3-8に基づきプレゼンテーションがあり、主に以下の質疑が行われた。

- KDDI の資料について、ネットワーク構成及びデータについて具体的なものを提示いただきたい。  
(影山構成員)
- 社内で確認する。(佐々木構成員)
  
- 優先制御についてはどの程度有効なのか。(甲藤主任)
- ネットワークのひっ迫時においても優先的にパケットを送ることができるため、有効ではないかと考えられる。(滝口構成員)
  
- 測定方法について、開設時は技術基準に沿った測定方法にて確認することとするが、運用時にネットワークを維持するために測定する際も技術基準に沿った測定を行い報告するようにすべきか。(事務局)
- 遅延を正確にとるとなるとタイムスタンプをつけて測定することや測定器等に係るコストが大きくなることが懸念点である。(佐々木構成員)
- 現状の RF では報告義務はないことから、IP の場合に報告義務を課すとなると整合性がとれない。(川口構成員)

### (5) その他

事務局より、第4回 IP 放送作業班の開催日程について、調整の上別途連絡する旨の説明があった。

以上